

広告原稿制作上の留意点

- 広告原稿は原則として、「J-PDF」ルールで作成された原稿のみの校了入稿となります。
色校正は出校いたしません。

入稿形態は（社）日本雑誌協会（JMPA）の規定に従い、下記、4点セットでご入稿をお願いいたします。

- ① 原稿データ（CD-R等の記憶媒体）
- ② そのデータで出力した出力見本（必ず原稿原寸サイズでトンボ入り出力）
- ③ データ仕様書（「雑誌デジ送ナビ」よりダウンロード）
- ④ プリフライトレポート（Adobe Acrobat Pro.にて検出）

- JMPAカラー2018で制作した原稿のみ入稿を受付いたします。

以下の点にご留意ください。

- ・オンライン送稿に関しては、Quick Print で備考欄には、各バージョン制作を記入しない
- ・オフライン送稿に関してはJMPAカラー2018準拠PDF仕様書を使用すること

※制作ルールに関する詳細は、雑誌広告デジタル送稿推進協議会が運営するWEBサイト「雑誌デジ送ナビ」(<http://www.3djma.jp/>)の<原稿制作方法>をご覧ください。

- オンライン送稿の仕様について

㈱デジタルセンドを利用した運用が前提となり、同システムによるJ-PDFデータとメタデータのセット入稿となります。

詳しくは、㈱デジタルセンドのWEBサイト「雑誌オンライン送稿サービスについて」

http://www.digital-send.com/service_mag/service_mag_summary をご覧ください。

※オンライン送稿で受付できる媒体は以下の通りです。

「AERA」「AEAR with Kids」「ジュニアエラ」「AERA with Baby」

「AERA STYLE MAGAZINE」「AERA English」

※はがき、観音など特殊なスペースの広告は、㈱デジタルセンドのオンライン送稿サービスを利用した入稿はできませんのでオフライン入稿をお願いいたします。

- オフライン入稿となる場合の留意点

- ① 【J-PDF】でのデータ作成が対応できない場合

毎年秋にIllustrator・InDesignの最新バージョンがリリースされますが、最新バージョンでは印刷会社で使用環境を確認するまで（翌年4月まで）入稿することができません。

そのためEPS保存で入稿する場合は、必ずアウトライン化を行い下位バージョンで保存してください。

またその場合は仕様書に必ず、下位バージョンで保存と明記してください。

- ② 入稿方法

1) メールでの入稿をご希望の場合は、ご相談ください。

2) 1つの雑誌（掲載号）で、10頁以上の入稿をされる場合は、メールではなく、CDなどのメディアに焼いて入稿いただくようご協力をお願いいたします。

< 注意点 >

- QRコードは必ずスミバタ1色で制作してください。
※QRコードを4色で制作いたしますと、QRコードが読み取れない危険があります。
- 製本の際に断裁の誤差で紙の白い部分が出ないようにするため、裁ち落としの画像や地色を入トンボから外トンボ(仕上がり寸法+天地左右各3mm:塗り足し)まで広げてください。
出力見本は、トンボ・塗り足しも必ず表示するようにしてください。
- 社名やロゴマーク、切れてはいけない絵柄などについては、仕上がり寸法(内トンボ)の10mm以上内側に入れてください(セーフティ10mm)。
- ヌキ文字は、10級以下では再現が困難となり、文字が見えにくくなりますのでご注意ください。
白ヌキ線も同様ですので、太めのものを使用してください。
- 4色(CMYK)掛け合わせの網点の総量(TAC値)は、320%以下にしてください。
これは、シャドウ部分の潰れや、印刷時の汚れを防ぐことを目的としています。
- 画像部分の解像度は、350dpi以上をお願いします。
- モノクロ広告原稿は、スミ1色で制作してください。
- 見開きの原稿につきましては、切れてはいけない文字や絵柄はセンター(ノド)から左右10mm内側に入れてください(セーフティ10mm)。
- いただいた広告データは原則返却いたしません。原稿の返却が必要な場合はご入稿時の原稿袋等に大きく分かりやすく「要返却」とご記入ください。

2023年6月
朝日新聞出版 メディアビジネス部